# 国道188号（柳井～平生）における道路整備についての意見交換会



## これまでの検討経緯

今年2月、国土交通省、山口県、柳井市、平生町が連携し、柳井・平生地域の道路整備のあり方を検討することを目的に、勉強会を設立しました。

これまで2月と6月に会議を開催し、アンケート調査、企業ヒアリング等を通じて、地域の皆さまからいただいたご意見を参考に、地域に必要な道づくりのあり方について検討を進めています。

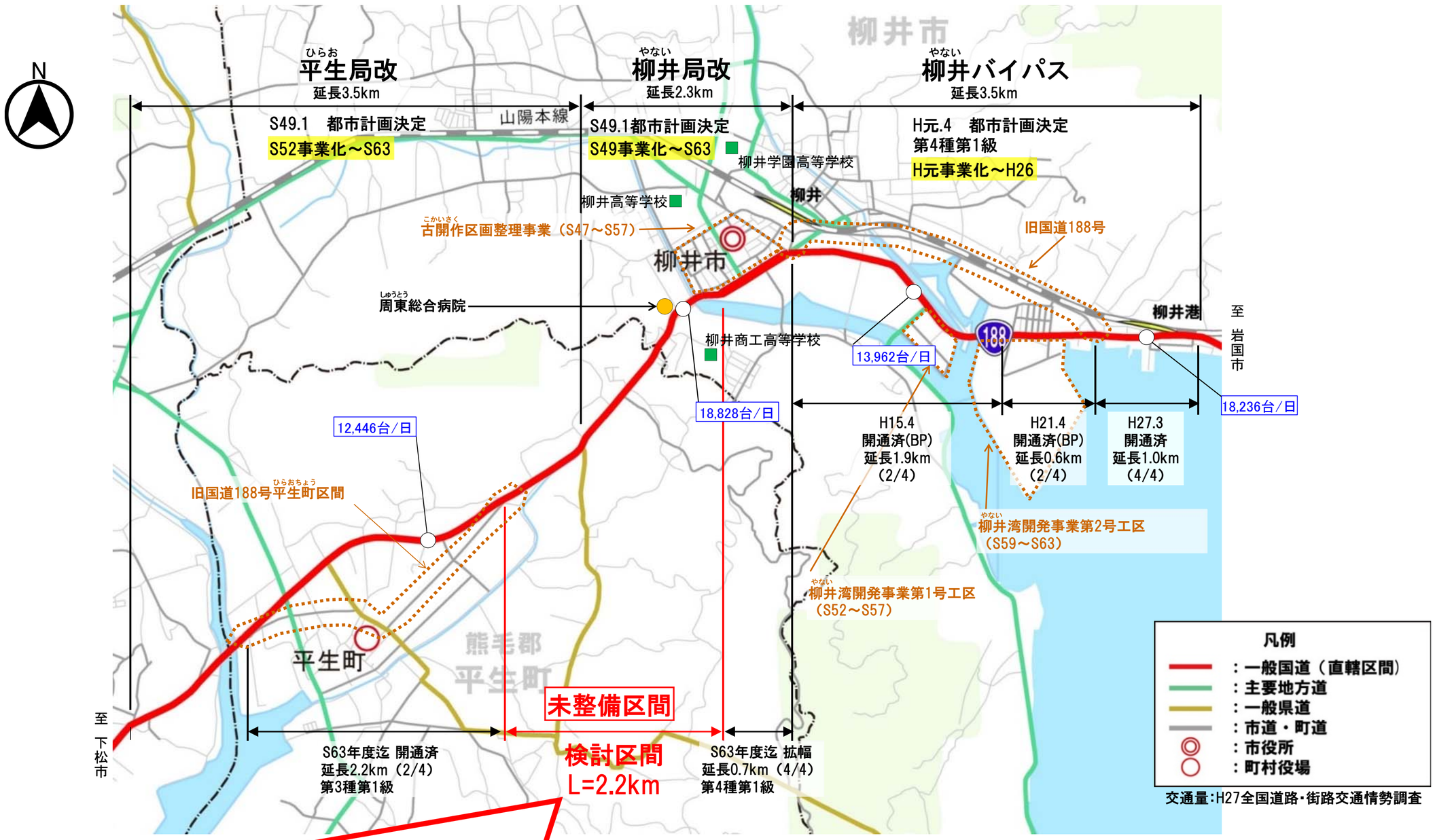
## 意見交換会の目的

地域にとって、より良い道路を整備するために、皆さまのご意見を直接お聞かせ下さい。

## 意見交換会（オープンハウス形式）の内容

- 開催時間内で好きな時間に参加できます
- これまでの検討内容の情報を知ることができます
- 道路整備についてスタッフに意見を言うことができます
- 質問等があればスタッフに説明を聞くことができます

## 国道188号（柳井～平生）の概要




**柳井市、平生町の国道188号は段階的に順次整備を進めてきたが未整備区間が存在する。**

# 道路整備に関するアンケートの結果

2

## 調査の概要

**■調査期間**
平成31年4月26日～5月20日

**■調査方法**
①関係自治会へ配布、郵送回収
②市町庁舎や商業施設等への
　アンケート票の設置
③事業所個別配布、直接回収

**■調査主体**
柳井市・平生町

**■調査名称**
国道188号（柳井～平生）における地域の道路の検討に関するアンケート

**■対　　象**
下表の通り

| | |
|---|---|
| 関係自治会 | |
| 柳井市（3自治会） | 515世帯 |
| 平生町（8自治会） | 516世帯 |
| 商業施設等設置 | |
| 柳井市・平生町 | 945部 |
| 事業所個別配布 | |
| 柳井市・平生町 | 2,711部 |
| その他（対話型） | |
| 柳井天神まつり | 60部 |

### アンケート調査配布地域

## アンケート配布数・取組状況

**アンケート配布数・回収率**

| 区分 | 対象者 | 実施期間 | 対象地域等 | 配布件数 | 回収件数 | 回収率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 地元自治会 | 柳井市 | 令和元年5月 9日（木）～5月20日（月） | 柳井市関係自治会(3自治会:全戸配布) | 515 | 154 | 29.9% |
| | 平生町 | 令和元年5月10日（金）～5月20日（月） | 平生町関係自治会(8自治会:全戸配布) | 516 | 144 | 27.9% |
| 商業施設等設置 | 柳井市<br>平生町 | 平成31年4月26日（金）～5月20日（月） | 柳井市役所、平生町役場<br>ゆめタウン柳井、ミスターマックス柳井店<br>マックスバリュ平生東店、アルク平生店 | 945 | 513 | 54.3% |
| 事業所個別配布 | 柳井市<br>平生町 | 平成31年4月26日（金）～5月20日（月） | 市町内主要事業所、周東総合病院<br>柳井商工高校、柳井高校<br>※沿道の主な事業所従業員等に依頼 | 2,711 | 1,835 | 67.7% |
| 対話型 | 柳井市 | 平成31年4月21日（日）※先行実施 | 柳井天神まつり | 60 | 60 | 100.0% |
| 合計 | | | | 4,747 | 2,706 | 57.0% |

**アンケート取組状況**

■柳井天神まつり時調査状況

レトロ市民交流広場（柳井市中央二丁目）

■アンケート票設置状況

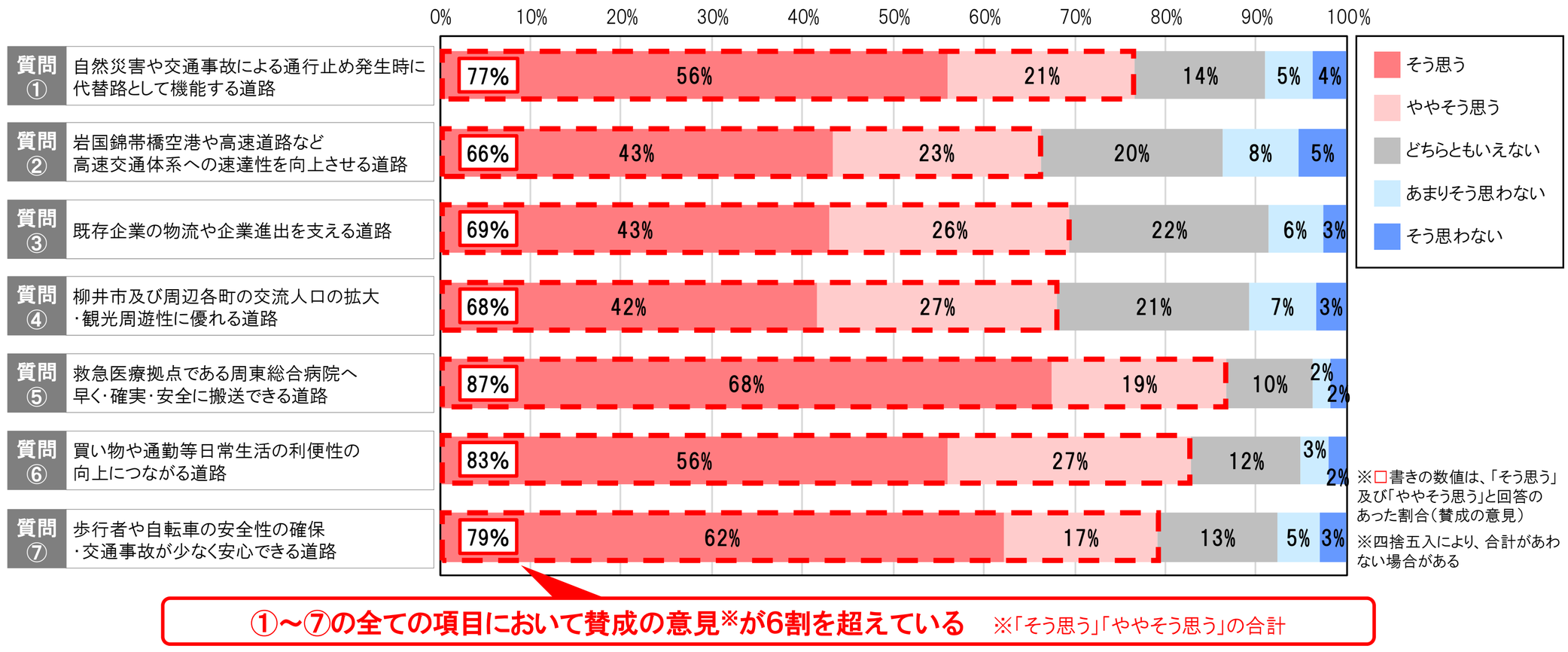
平生町役場設置状況

商業施設設置状況

## 回答状況（特に重視すべき項目）

**【質問】道路整備を検討するに当たり、地域の将来も踏まえどのような道路にすべきと思いますか？**

（以下の質問①～⑦について、「そう思う」～「そう思わない」で5段階評価）

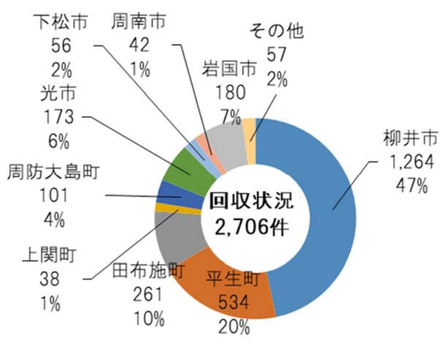



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合（賛成の意見）
※四捨五入により、合計があわない場合がある

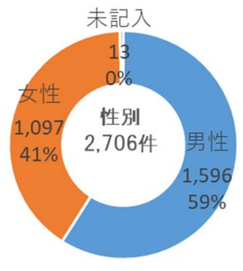
**①～⑦の全ての項目において賛成の意見※が6割を超えている**　※「そう思う」「ややそう思う」の合計

## 回答状況（回答者の属性）

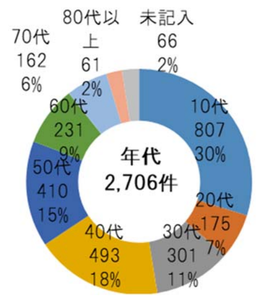
### アンケート回収状況




### 性別

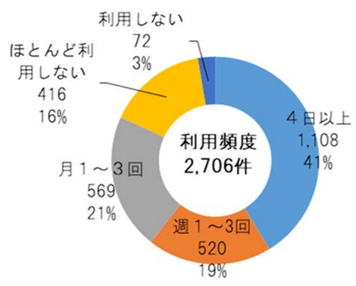



### 年代

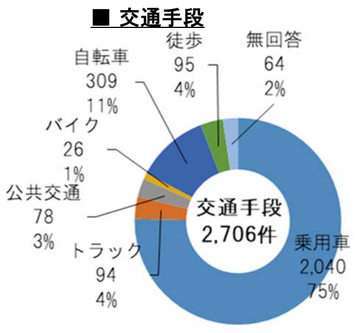



### 現在の国道188号（柳井～平生）の利用頻度

**■ 利用頻度**

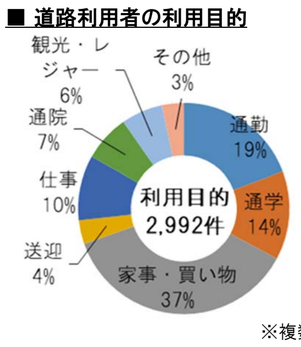



**■ 交通手段**



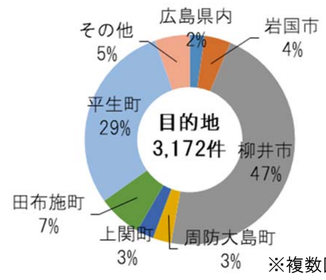

### 現在の国道188号（柳井～平生）の利用目的

**■ 道路利用者の利用目的**




※複数回答あり

**■ 目的地**




※複数回答あり

# 道路整備に関する企業ヒアリングの結果



## 調査の概要

**実施日：令和元年5月10日～5月22日**
**対　象：柳井市・平生町内の企業・団体等　全25者**

◆周東総合病院・訪問看護ステーション
◆柳井地区広域消防本部
◆柳井市観光協会・平生町観光協会
◆柳井商工高等学校
◆電気・ガス事業者（関連会社含む）　3者
◆商業施設（スーパー）　4者　　◆製造業（工場等）　4者
◆交通事業者　2者　　◆運送業　2者
◆柳井市・平生町の観光・産業・福祉等関係部署　4者

## 回答状況（道路整備に望むこと

### 安心・安全についての期待

#### 歩行者・自転車通行の安全性向上

○大型車による輸送があるが、病院周辺は見通しも悪く、渋滞時は車の陰から高校生が飛び出てくることもあり、非常に危険。
（柳井市内　製造業）

#### 交通事故の減少

○周東総合病院への右折車両が多く、本線へはみ出すことがあり、大型車が通り抜けできず渋滞し、これに起因した追突事故が起こる。
（柳井市内 運送業）

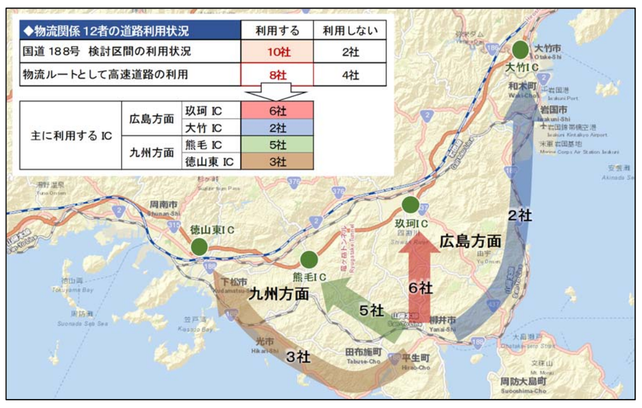
○周東総合病院付近や田布路木橋はカーブとなっており、脇道からの出入りもあるため、非常に危ない。
（平生町内 製造業）

### 産業・経済についての期待

#### 物流など円滑な産業交通の確保

○渋滞がなく幅広い道路の整備を望む。
（柳井市内　製造業）

○１８８号は重要な物流道路なので、検討区間はもちろん、岩国市内の渋滞対策も含めた総合的な整備を望む。
（平生町内　製造業）




#### 災害時いざという時のための代替路の確保

○柳井市にはLNG（液化天然ガス）の供給基地がある。災害等があっても何とか届けなければならないため、災害に強い道路や代替道路が必要である。
（電気事業者（関連会社））

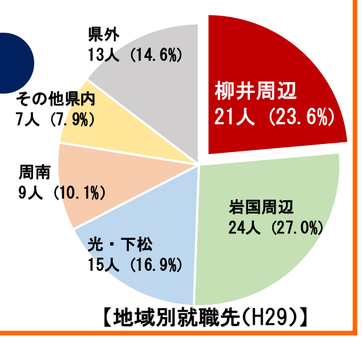
○防府工場と小野田工場へ１日７～８台大型タンクローリーで搬送している。

○山口県全域の重要なエネルギー供給を担っているので、代替ルートとして１本でも安全で広い道路が増えて欲しい。
（ガス事業者）

#### 企業誘致の促進・雇用の拡大

○柳井市周辺には、就職先が少ないため、生徒の多くは近隣の岩国や周南、県外へ就職する。

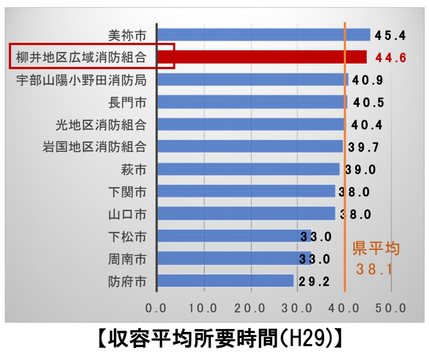
○企業が多く進出してくれば、地元就職も増えてくるので、道路整備をはじめ、企業の誘致に繋がる政策を絶えず進めて欲しい。
（柳井商工高等学校　教員）




### 医療・介護についての期待

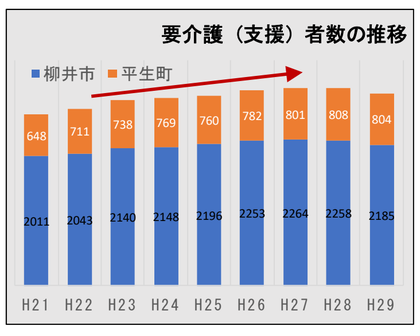
#### 救急搬送時間の短縮

○1分1秒を争う患者も多く、救命率向上のため少しでも早く救急搬送できる道路の整備を望む。
（周東総合病院）



#### 訪問看護・介護サービスの効率化

○訪問看護や訪問介護サービス及び通所サービス（移送）は、当然ながら道路を使って移動するので、渋滞がなく円滑になると、訪問看護等の事業が効率化されサービスの充実に繋がる。
（柳井市高齢者支援課）




### 観光・交流についての期待

#### 観光周遊ルートの形成・観光客の増加

○周防大島から田布施、上関まで一連で周遊できるようにしたい。その面で横に繋がる国道188号の役割は大きい。
（平生町観光協会）

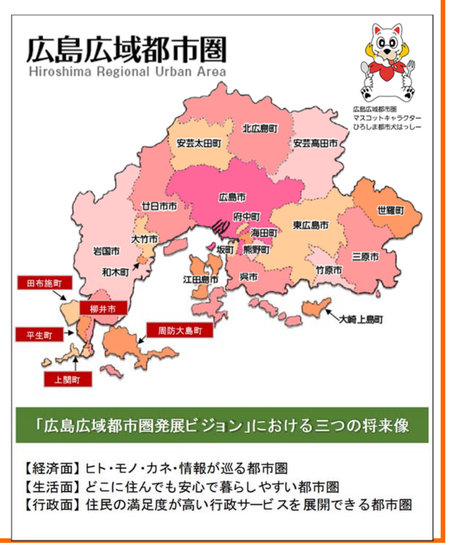
#### 自治体間の広域連携の促進

○本市としては、広域圏内の市町で連絡調整を図り、医療・福祉・保育・雇用・観光など様々な行政分野において連携に取り組むこととしている。

○広島広域都市圏の連携も進めている。

○このために、国道１８８号をはじめとし、広域的な移動が円滑となる道路網の構築が不可欠と考えている。
（柳井市政策企画課）

○今後、広域的な観光ルートを作ったり、さらに連携して広域観光の取組を進めていきたいという気持ちは強くあり、幹線道路である国道188号が良くなると有り難い。
（平生町観光協会）



# 政策目標、対応方針(案)について

4

## 政策目標の決定

| 地域の課題 | 政策目標 |
|---|---|
| 安心・安全<br>医療・介護<br>観光・交流<br>産業・経済 | ◆交通安全の確保<br>◆救急医療機関への速達性・確実性の確保<br>◆観光振興の促進<br>◆産業振興を支援するネットワークの強化<br>◆交通の円滑化<br>◆災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保 |

## 対策案の検討

| 評価項目 | | 評価のポイント | 【案1】 バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)<br>現道の課題区間を回避する４車線のバイパスを整備し<br>残る区間の現道を拡幅する案 | | 【案2】 現道拡幅案<br>現道（対面２車線）を４車線に拡幅する案 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 道路整備による効果・改善点 | 交通安全の確保 | 交通事故が起きにくいこと<br>歩行者の安全性が確保されること | ○ | ・バイパスへ交通転換することにより交通事故が減少<br>・バイパス区間に歩道が整備され、安全性が確保される | ○ | ・現道拡幅で右左折交通が分離され交通事故が減少<br>・全ての区間で歩道が整備され、安全性が確保される |
| | 救急医療機関への速達性・確実性の確保 | 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること | ○ | ・バイパスへ交通転換することにより渋滞が緩和し、救急医療機関への速達性向上が見込まれる<br>・バイパス整備により、災害や事故等による通行規制の影響を受けず、早く確実に搬送可能 | △ | ・現道拡幅により交通処理能力が向上し、救急医療機関への速達性向上が見込まれる<br>・災害や事故等による通行規制時には徐行が求められるため、効果は案1に比べ小さい |
| | 観光振興の促進 | 観光地へアクセスしやすいこと | ○ | ・バイパス整備により、事故等による通行規制の影響を受けず、観光地へのアクセス性が向上 | △ | ・現道拡幅により車線数が増加し、事故等による全面通行止めのリスクは減少するものの、規制時には徐行が求められ、観光地へのアクセスに時間を要する |
| | 産業振興を支援するネットワークの強化 | 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること | ○ | ・バイパス整備により、走行性が確保され、速達性が向上 | △ | ・現道拡幅により交通処理能力が向上し渋滞緩和が見込まれるが、効果は案1に比べ小さい |
| | 交通の円滑化 | 渋滞が緩和できること | ○ | ・バイパスへ交通転換することにより渋滞が緩和 | △ | ・現道拡幅により交通処理能力が向上し渋滞が緩和<br>・信号交差点が残るため、案1より速度低下 |
| | 災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保 | 災害や事故等による通行止め発生時に多重性が確保されること | ○ | ・バイパス整備により多重性が確保される | △ | ・現道拡幅により車線数が増加し、全面通行止めのリスクは減少するものの、多重性は確保されない |
| 配慮すべき点 | 環境等への影響 | 自然環境への影響が少ないこと | △ | ・土地を新たに改変する範囲が大きいため配慮が必要 | ○ | ・土地を新たに改変する範囲は小さい |
| | 生活への影響 | 移転等が必要な家屋が少ないこと | ○ | ・４５軒 | △ | ・７５軒 |
| | 工事の影響 | 工事中の交通規制の影響が少ないこと | ○ | ・バイパス部工事のため、現道の交通規制は少ない | △ | ・現在の国道を拡幅するため、交通規制が多い |
| | 建設費 | 建設に要する費用が安いこと | ○ | ・約７０億円 | △ | ・約８０億円 |

## 対応方針(案)の決定

**『【案1】バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)』を対応方針(案)とする**

[理由]

○『【案1】バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)』は、全ての政策目標の達成が見込める。

○『【案1】バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)』は、移転等が必要な家屋や工事中の交通規制の影響が少なく、建設費が安いなど【案2】現道拡幅案より総合的に優れている。

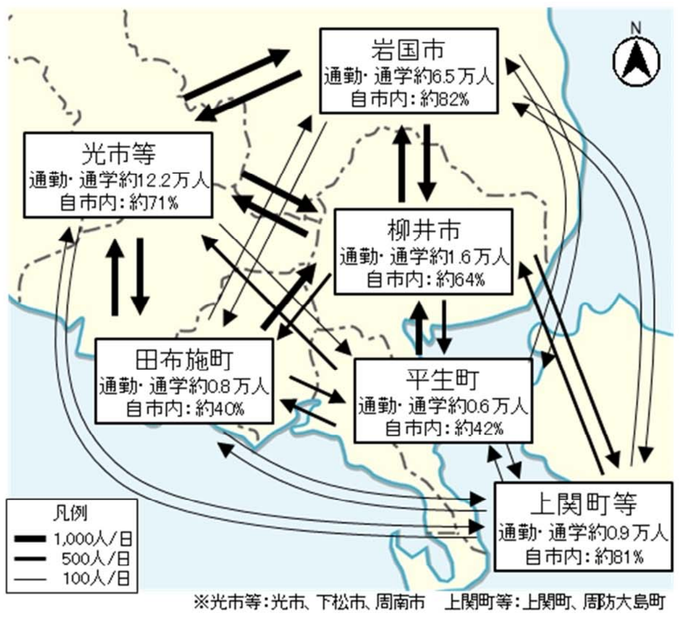
# 地域・道路の状況



## 地域の状況（生活・産業）

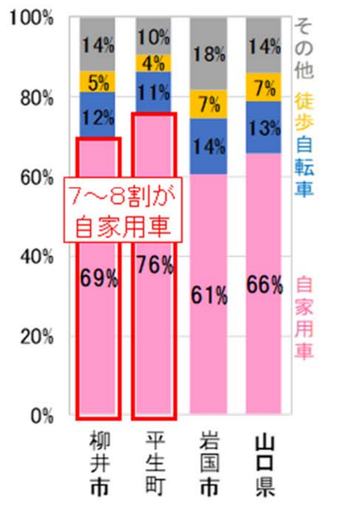
○柳井市の通勤・通学流動は、流入者数が流出者数を上回っており、平生町や田布施町、光市等からの流動が多く、主に自家用車を利用。
○柳井市は、周辺市町及び山口県と比較して第三次産業の割合が高く8割以上を占めており、生産額も年々増加。
○柳井市の人口一人当たりの小売業年間販売額は岩国市を上回っており、県平均よりも高い伸び率で増加。

■通勤・通学流動（H27）

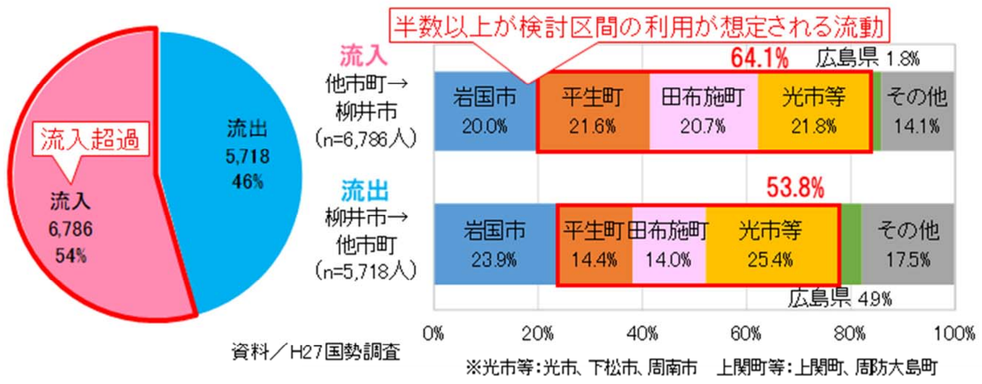



※光市等：光市、下松市、周南市　上関町等：上関町、周防大島町

■通勤・通学時交通手段



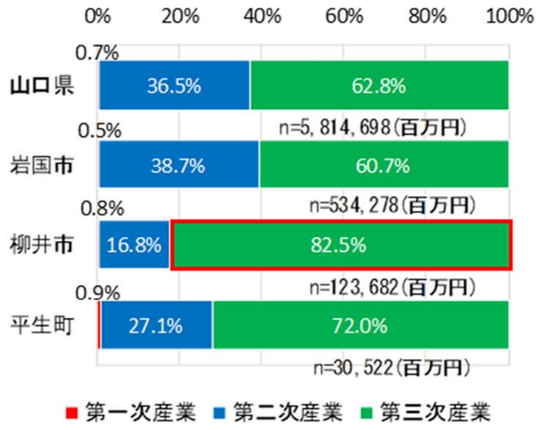

＜柳井市における通勤・通学による流入・流出者数の内訳（自市内は除く）＞



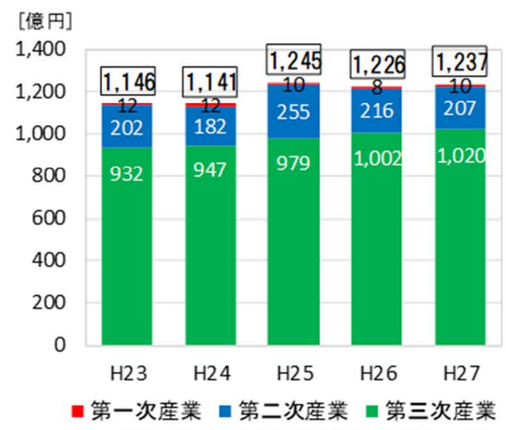

資料／H27国勢調査

※光市等：光市、下松市、周南市　上関町等：上関町、周防大島町

■産業別生産額の内訳（H27）

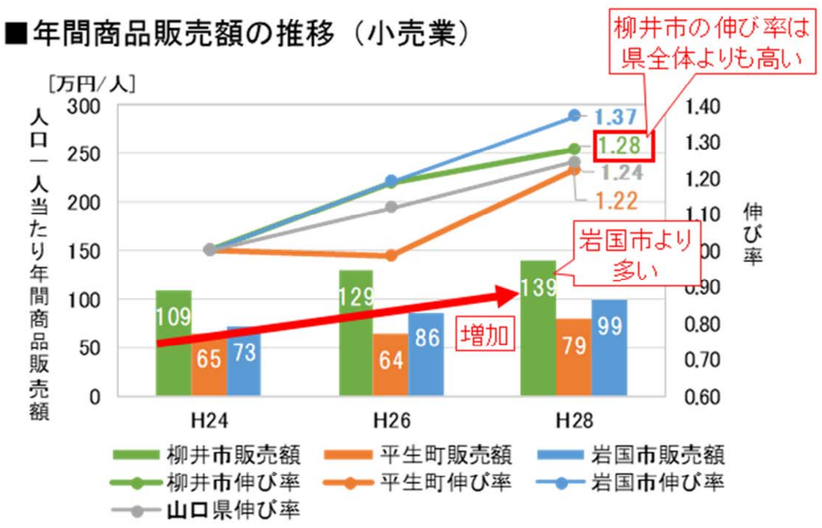



■産業別生産額の推移（柳井市）




資料／平成27年度市町民経済計算（山口県）

■年間商品販売額の推移（小売業）




※人口一人当たりの販売額は、年間商品販売額を各年1月1日現在の人口で除して算出

資料／H24・H28：経済センサス-活動調査、H26：商業統計調査、山口県人口移動統計調査

## 地域の状況（観光）

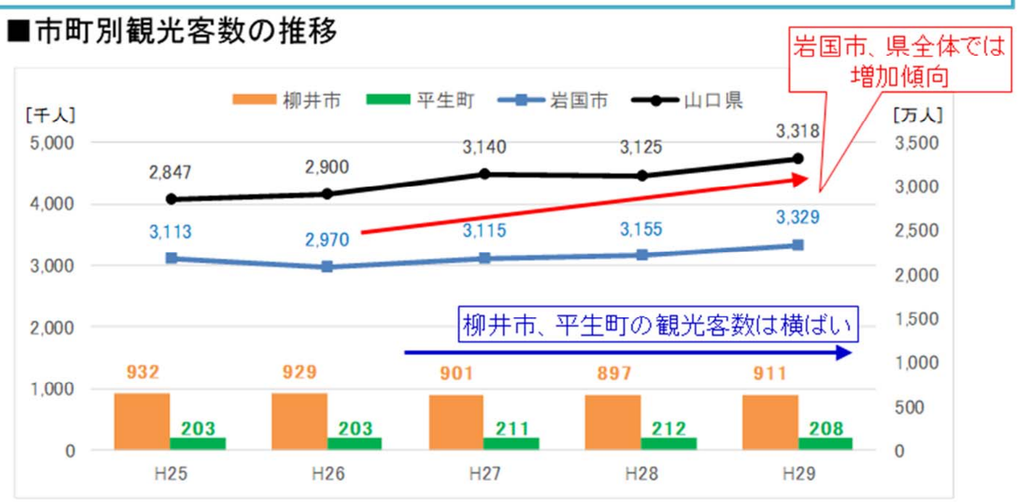
○岩国市、山口県全体の観光客数は増加傾向であるが、柳井市及び平生町はほぼ横ばい。
○発地別に見ると、柳井市は約8割、平生町は約9割が県内客で、県外から訪れる観光客は少ない。
○一方、岩国市では県外客の割合が約7割に達しており、中国地方に次いで、岩国錦帯橋空港との航空便が就航している関東からの割合が多い。

■観光地別観光客数

資料／平成29年山口県の宿泊者及び観光客の動向について

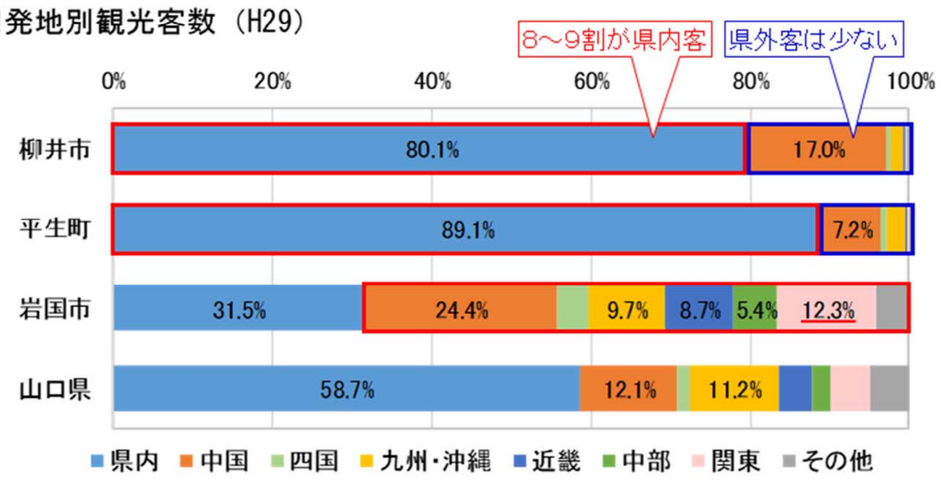
資料／山口県観光連盟、中国地方整備局

■市町別観光客数の推移




資料／平成29年山口県の宿泊者及び観光客の動向について

■発地別観光客数（H29）




資料／平成29年山口県の宿泊者及び観光客の動向について

# 地域・道路の状況

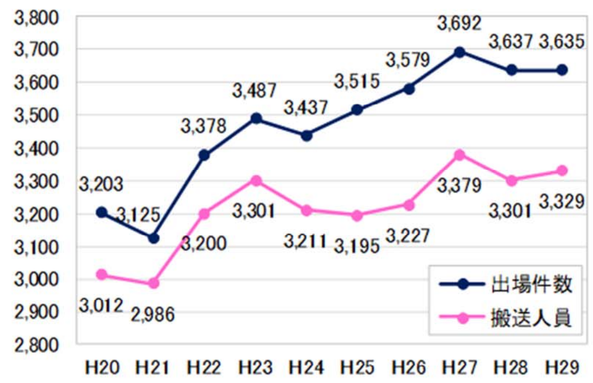
6

## 地域の状況（救急医療）

○柳井地区広域消防組合管内において、年間約3,300人が救急搬送されており、その約5割が周東総合病院に搬送。
○医療機関への収容に多くの時間を要しており、所要時間は県内で2番目に長く、県平均を大きく超過。
○周辺地域には第三次救急医療施設がないことから、第二次救急医療施設である周東総合病院は、救急医療の重要施設との位置付け。

■周辺の救急医療機関の所在地

■救急搬送の推移

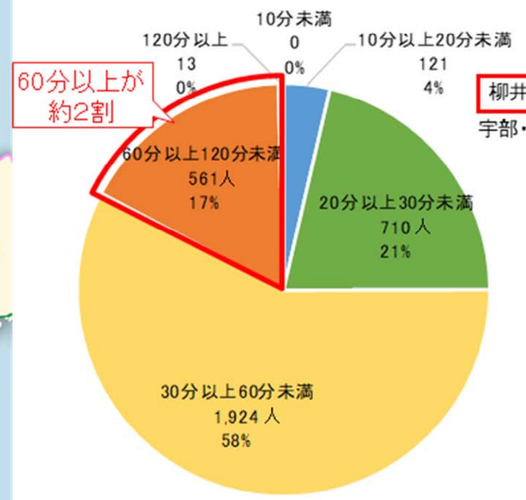



資料／平成29年版柳井地区広域消防組合消防年報

●搬送総人数　3,227人
うち周東総合病院　1,701人
（約5割）

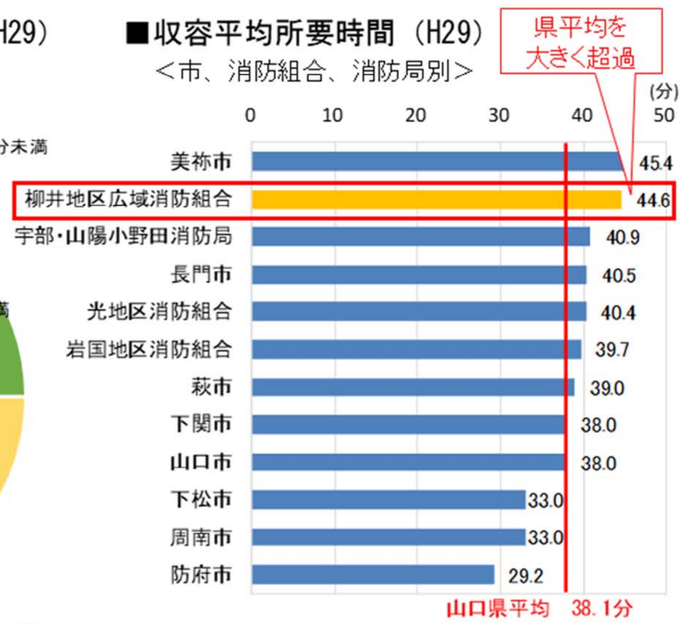
資料／柳井地区広域消防組合・平成26年

■収容所要時間別搬送人員（H29）




資料／平成29年版柳井地区広域消防組合消防年報

■収容平均所要時間（H29）
＜市、消防組合、消防局別＞

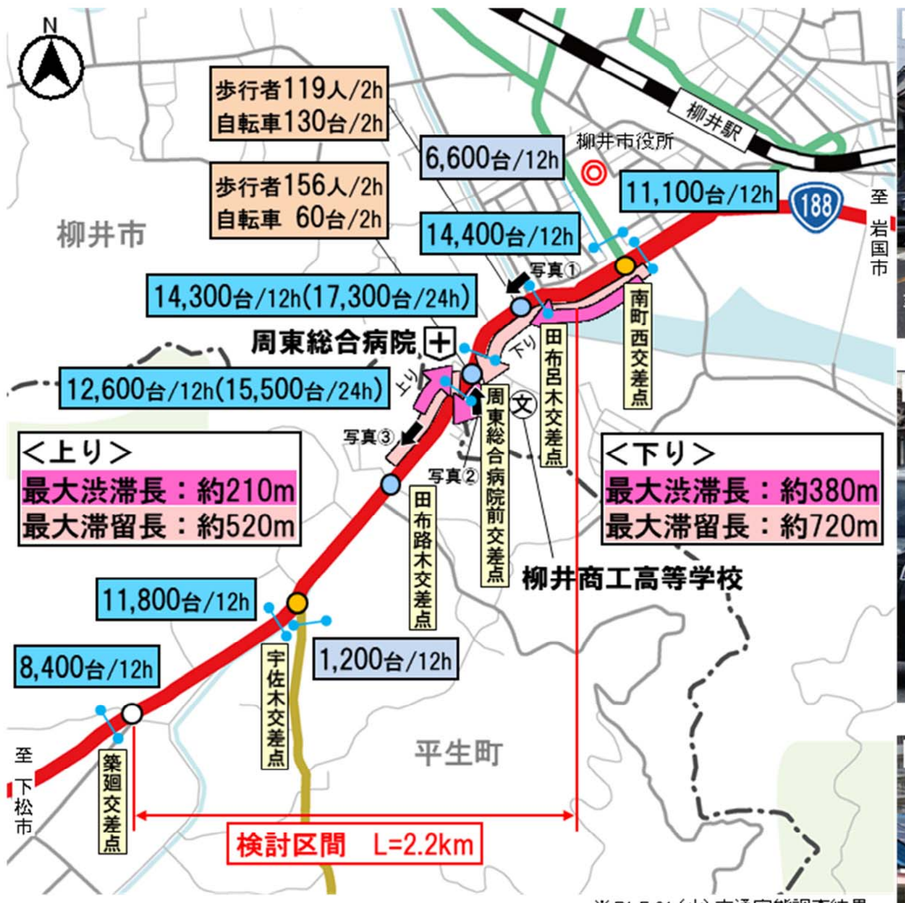



資料／平成29年度消防防災年報

## 道路の状況（交通状況）

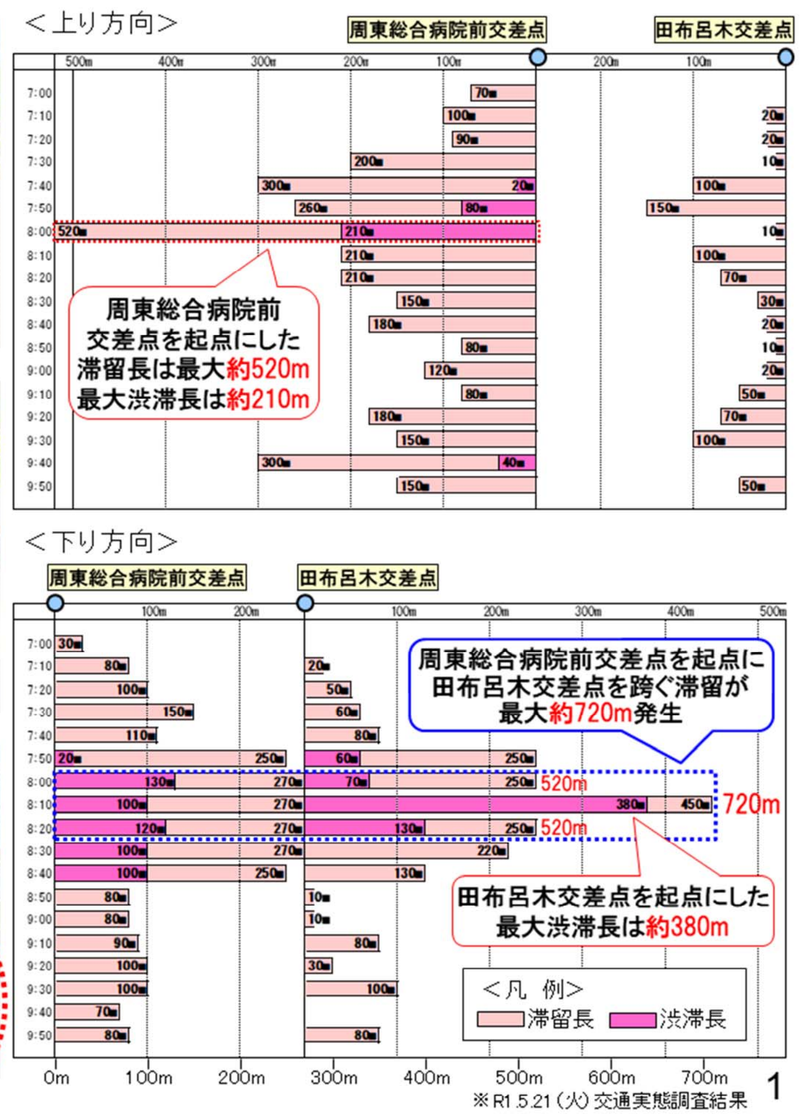
○周東総合病院前交差点を起点とした滞留が、最大で上り方向約520m、下り方向約720m発生。
○渋滞は、上り方向では周東総合病院前交差点を起点に約210m、下り方向は田布呂木交差点を起点に約380m発生。
○朝ピーク時には、病院の勤務者や通院者、高校への通勤・通学者の横断が集中する。

■交通量・渋滞長・滞留長



凡例
：断面
台/h：断面交通量（国道188号）
台/h：断面交通量（従道路）
台/h：横断者数（7-9時）
○：信号交差点
●：〃（感知式）
●：〃（押しボタン式）
※周東総合病院前：7～10時、16～19時は定周期
渋滞長：交差点各方向の1回の信号待ちで通過できずに残っている車列の長さ
滞留長：信号が赤から青に変わった時点で停止している最後尾までの車列の長さ

■渋滞長と滞留長（朝ピーク）



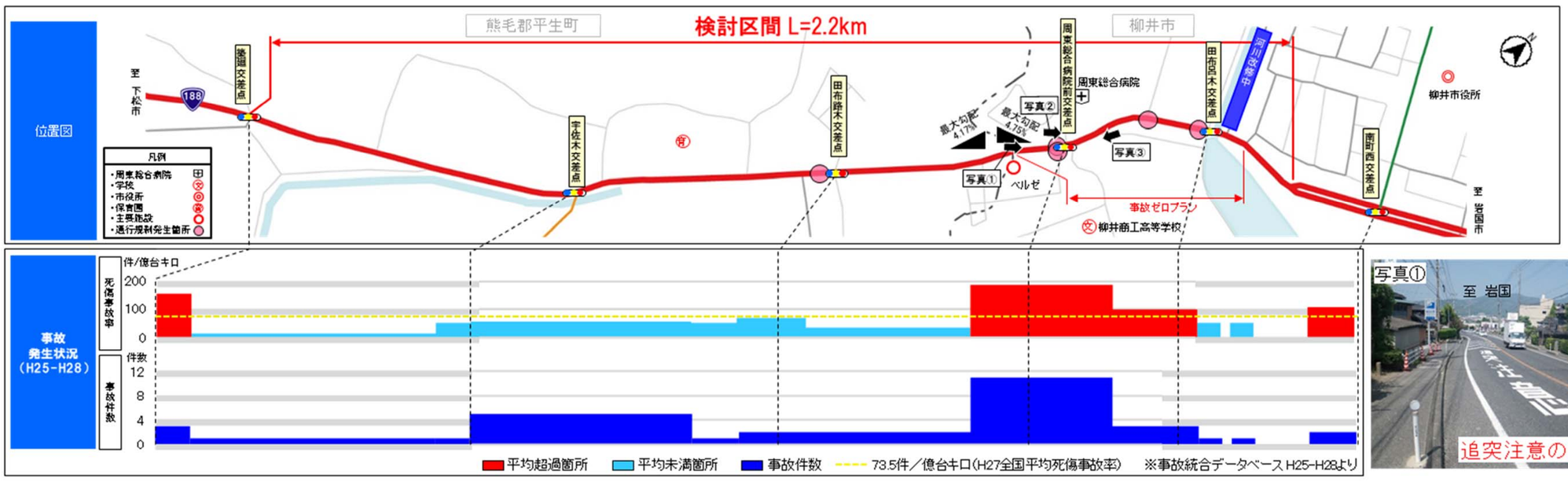

※R1.5.21（火）交通実態調査結果

# 地域・道路の状況



## 道路の状況（交通事故）

○検討区間においては、H25～H28の4年間で死傷事故が32件発生しており、事故による交通規制実績は5件、計約6時間/4年。
○交差点からの出入り交通や右左折交通が多いことに起因すると考えられる追突事故の発生割合が、全国平均と比較して高い。
○特に事故率の高い田布路木橋～周東総合病院前は、事故ゼロプラン（事故危険区間）に指定。

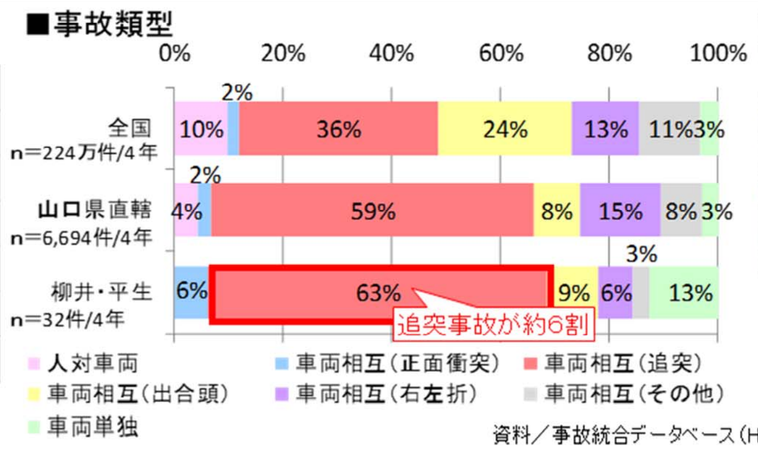


### ■交通事故による通行規制実績（H25～H28年度）

| 規制日 | 開始時刻 | 規制時間 | 規制理由 | 規制内容 |
|---|---|---|---|---|
| H25.7.23 | 13:02 | 51分 | 正面衝突 | 全面通行止 |
| H26.7.1 | 19:32 | 19分 | 単独事故 | 片側通行止 |
| H27.2.7 | 10:29 | 1時間19分 | 単独事故 | 片側通行止 |
| H28.4.27 | 9:48 | 1時間10分 | 正面衝突 | 片側通行止 |
| H29.3.6 | 7:11 | 2時間28分 | 追突事故 | 全面通行止 |
| 合計 | | 6時間7分 | － | |

資料／山口河川国道事務所

### ■事故類型



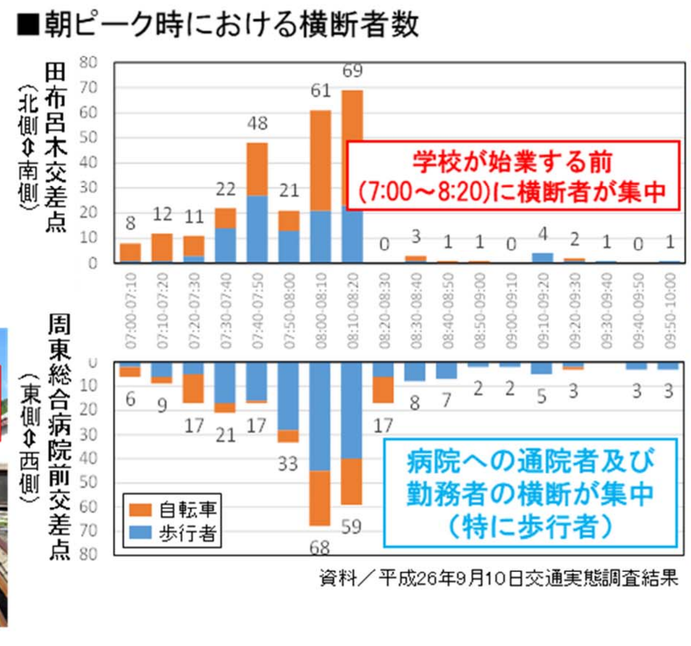

資料／事故統合データベース（H25～H28）、全国：警察庁データ（H25～H28）

## 道路の状況（交通安全）

○築廻交差点周辺では、平生小学校の通学路として一部指定されているものの、歩道未整備区間も存在。
○付近に高校が立地しているため、高校生の通学にも利用されており、狭小区間で自転車が自動車と並走。
○周東総合病院前交差点付近では、朝ピーク時に、通勤車両や通学する高校生、病院への通院者等が錯綜し危険な状況。

### ■歩道未整備区間

### ■朝ピーク時における横断者数




資料／平成26年9月10日交通実態調査結果

# 地域・道路の状況

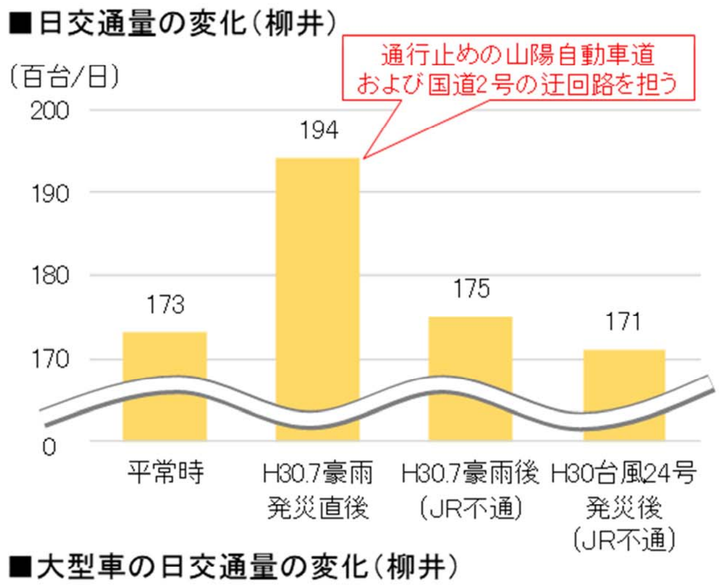


## 道路の状況（国道188号における平成30年7月豪雨の影響）

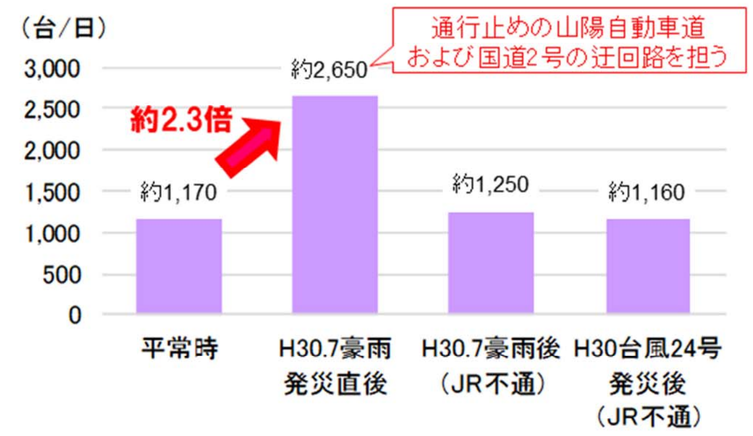
○平成30年7月豪雨により山口県内各所で災害による道路の通行止めが発生。岩国市～下松市間では、山陽自動車道、国道2号等の主要幹線道路が全面通行止めとなり、国道188号が東西交通の迂回路として機能。

○また、JR山陽本線は光市内で土砂崩落が発生し、柳井～下松間が約2ヶ月の不通となったことで、国道188号が鉄道の代替機能も発揮。

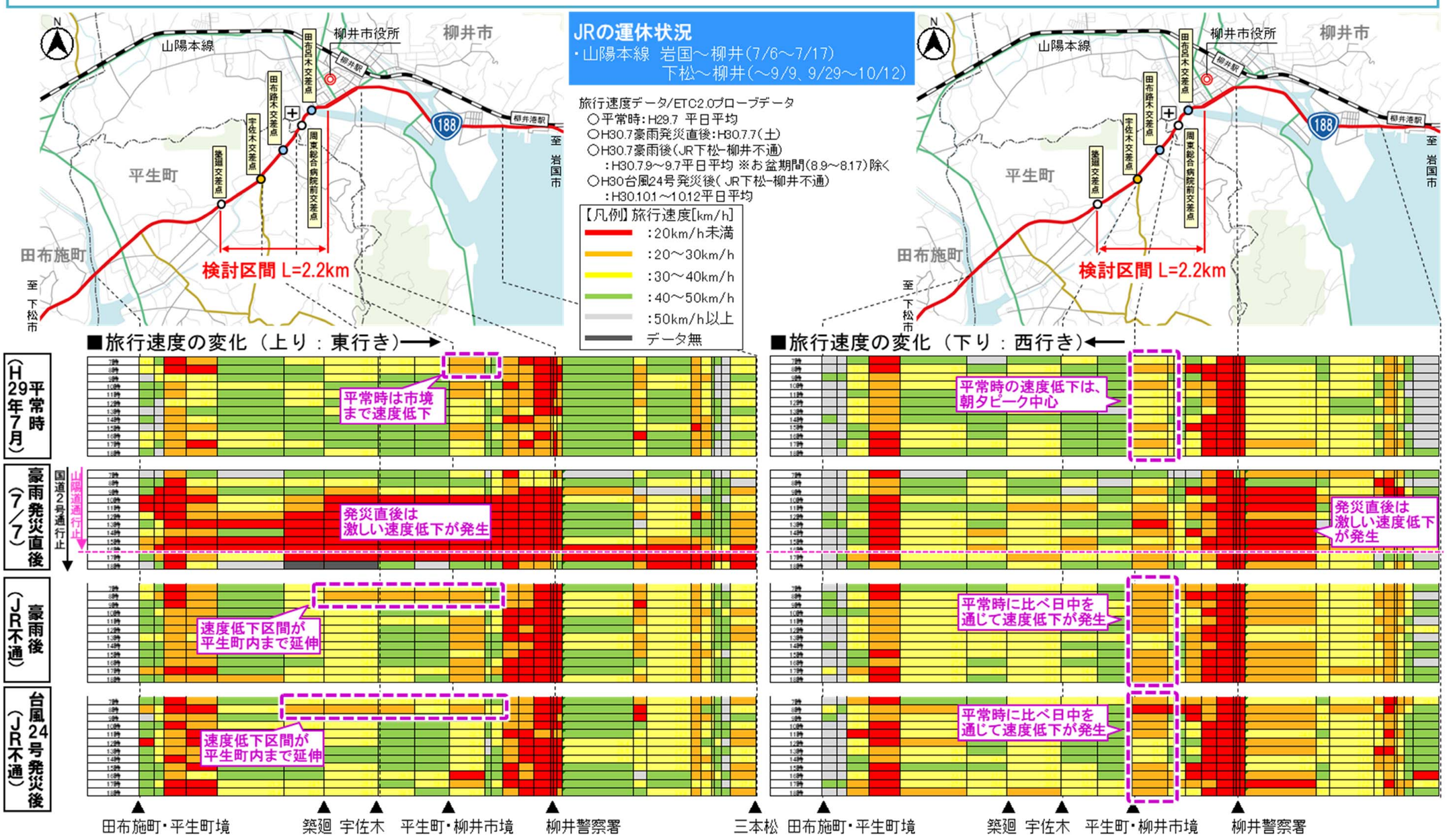
■日交通量の変化（柳井）




■大型車の日交通量の変化（柳井）




注1：平日交通量の平均値にて整理しているが、発災直後(7.7)のみ土曜日となっている
注2：平常時の交通量は、H29年7月が全て欠損のため、H28年7月を用いている

## 道路の状況（柳井・平生地域における平成30年7月豪雨の影響）

○平成30年7月豪雨発災直後（7/7(土)）は山陽自動車道及び国道2号が通行止めとなったため、国道188号で激しい速度低下が発生。